

出席者 町教委(教) 高橋 篤 教長 山下雅弘 教務部長 石黒俊光 学校教育課長 鈴木和芳 主幹 蟹江敏広 指導主事
知教労(組) 佐田京美 委員 岡田 康 副委員 岡崎良久 書記

1 多忙化解消について昨年から進んだこと

組 泊を伴う行事で、車中に休憩を設定する学校がなくなり感謝。

委 校務支援システムを今年度4月から本格稼働した。夏期休業中の閉校日を設定した。8月10日から16日までにした。その間は留守電対応。留守電は日常では使っていない。

2 時間の管理について

組 在校時間の記録の共通のシートが8:30 差し引くシートだが、休憩は取れているのか。

委 休憩時間はとるよう校長会で依頼している。

組 子どもがいる以上は休憩がとれないと考える。休憩時間を理由に対応しないことは実際にはない。そのような時間は手待ち時間として勤務時間に含まれる。だから、子どもたちがいる平日は在校時間から7:45を差し引いた時間が時間外労働として計上されるべき。式日や長期休業中は休憩が取れる。8:30を引く・7:45を引く、併記できるシートにしてほしい。

委 前向きに検討する。

組 休憩が取れなかったときは、労働時間として計上するように校長には伝わっているのか。

委 校長には話がしてある。各職員に伝わっているかは把握していない。

組 知教労が調べたここ4年間の4月の超過時間の推移では、南知多は減っていない。日間賀中小は特殊な状況ではあるが80時間超過者が半分以上であり、多すぎる。

委 勤務とそうでない部分との線引きが難しいが、島の勤務は精神的な負担も多い。減らしていきたい。

組 時間管理の機器導入はどうか。

委 各先生が記入して管理職が確認している。機器の導入は諸事情により導入できない。

組 時間外勤務外の業務はなしにしていく方向で進めてほしいが、さしあたり、勤務前の活動をやめてほしい。

委 あいさつ運動はやっている。

組 限定4項目に入っていない。朝だけがあいさつ運動ではなく、日常的にすればよい。

委 割振り変更で対応していきたい。

組 割振ればよいという風潮ではいけない。割振りの必要がない業務ににしてほしい。勤務時間内にあいさつ運動をやればよい。

組 勤務時間開始と児童対応業務開始が同じになっている学校はないか？

委 いくつかの学校で同じになっている。

組 以前、校長会長との話の中で、そんな学校があるのかと驚かれた。是正をしてほしい。

委 指導していく。

組 割振られた時間をきちんと消化させたかという把握はしているか。

委 町教委は把握していない。今後は校長会議を通して把握するようにする。

組 割振りばかりでは困るが、どうしても今日やらないといけない業務については必ず割振りをしてほしい。日直や夕方登校する子どもたちへの対応なども、割振るよう校長に伝えてほしい。

組 文科省は超過時間上限45時間を出している。休憩を取れていない時間もきちんと計上すれば、現在よりも数字が大きくなる。かなりの業務削減が必要だ。

委 可能な限り削れるものを調査などを精選している。

組 子どものためになるからといってそれを教員がすべて負担すべきではない。

3 部活動について

組 部活動ガイドラインはどうなっているか。

委 ガイドラインは今年の4月に作成した。県のガイドラインの趣旨に沿い、地域性を加味して独自のものにした。県は平日3時間程度となっているが、町は時間を示さず、各学校で決めている。週に2日は休みにしている。

組 朝部について実情はどうか。

委 豊浜中のガイドラインでは朝部は昨年同様原則禁止。ただし試合前は、管理職に申請すればできる。／内海中は、原則月木曜なし。6月は原則禁止。／篠島中は、月曜なし。／日間賀中は休日明けと木曜はなし。ただし、木曜は試合前は別。6月7月はなし。

組 県は基本的に朝部を奨励していない。1年経過後、見直して朝部を廃止してもらいたい。

委 地域的にスポーツクラブがないので、学校部活に対して期待されているところがある。

組 小学校の部活動を廃止してほしい。知多市は再来年度から小学校部活はなくなる。

委 小学校部活を廃止することは考えてない。

組 超過労働が発生するのは、どう責任を取るの

か。教員のなり手も減少している。何年後かに廃止するというやり方でよいのでは？

委 検討はしていきたい。

組 南知多町では、きちんと毎年行事を縮小してきた。しかし、それでも超過労働があるということはさらに対策が必要だということだ。

組 1校ではいろいろな部活をつくれなくなっているのならば、町でクラブチームのようにする考えはないか？また 適正規模・適正配置にかかわらず、小学校の部活は南知多町も、やめられるのでは？

委 今、適正規模・適正配置については、住民の方と意見交換を順にやっている。将来の学校統合に関しては、今は過渡期なのではっきりしたことは言えない。他校との合同チームや全体でスポーツチームとかも話題にしている。

組 部活顧問をしていない先生はいるか。

委 年度当初に管理職から顧問についてお願いしている。全員が何らかの顧問をやっている。

組 部活動の生徒も顧問も希望制にしてほしい。

4 具体的な取り組みについて

組 各校での留守番電話対応はできないか。

委 留守電は校長会で検討した。生徒指導上であまり電話がかかって来ることはない。逆に万一の事故で直接連絡がとれない方が困る。必要性を感じず、将来的にも考えていない。閉校日は役場へ連絡するようにしている。

組 学校訪問の負担を減らしてほしい。

委 学校訪問の簡略化は考えていない。知教協の主旨に則ってやっていきたい。南知多町は少経験者が多く年に1回学校訪問で授業を深く研究するのは大事。書く機会も少なくなっているので指導案作りはやめない。

組 1枚でも伝わるのではないか。

委 若い人が多いので、細かいところまで書いて考えさせていきたい。

組 全員書く必要はない。

組 学校訪問の前の特別な環境整備や見送りは必要ない。やめるように指示をしてほしい。

委 普段からきれいにしているようにと言っている。特別なことはしなくていいと伝える。

組 職場体験学習に手を上げないでほしい。

委 今後も今のままでいきたい。

組 読書感想文は主催者が学校ではない。授業で指導した課題でもなく、主催者がすべき。

委 作品募集は減らしてきた。引き続き精選していきたい。読書感想文は苦勞するのは分かる。

組 広報紙やHPを通して応募すればいい。

委 検討していきたい。HP利用も紹介していきたい。町の事業としてやっているものは続けていきたいが、外部から依頼されるものは、精選していきたい。強制ではない。選挙・あいさつ運動の作品では、集約はお願いし、審査はこちらでやっている。

組 知教労は、朝部、職場体験学習、学校訪問、読書感想文等、大きな削減案を提案してきたが受け入れられないことが多い。これでは多忙化解消にはならない。

委 南知多の子はいろいろな部分で学ぶ機会が少ない。体験活動は大事な部分。部活動については、学校で面倒を見ていかないといけない部分がある。将来的には地域の力で子どもを育てていきたいと考えている。

組 どれくらい先の将来か。文化や運動の経験ができるようにするビジョンがあるのか。

委 統廃合問題にも関わり、今動いている途中なのではっきりできない。ビジョンが全くないわけではない。

組 公費購入の冊子に変わりはあるか。

委 「健康手帳」は小中廃止。校務管理ソフトで代用している。「知多の友」と「数学のリープ」は公費負担になっている。

組 教員が自分で使う教材を選択できるようにすべき。転任してきた先生に選択権がないのはおかしい。編集のあるものは、やめれば多忙化解消にもなる。必要ならば市販品がある。まずは公費からはずすように検討してほしい。

組 施設管理・維持の用務員の配置はどうか。

委 難しい。

組 再任用、非常勤講師にTTが多いが、授業は受け持てないのか。大井小は再任用や非常勤が教科を担当し、担任の負担が減っている。

委 校長会で話してみる。

5 その他

組 WBGT指数31度で運動・部活動中止は？

委 承知している。

組 特別教室のエアコンをつけてほしい。

委 将来的には検討していきたい。

組 教員の1年単位の変形労働時間制についてはどう考えるか。

委 教員の多忙化について心配している。

組 80時間以上の方が翌月も長くならないように、業務削減を含む強い指導をしてほしい。

委 指導する。

(以上)